

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に一般会計と区分して経理する会計で、国民健康保険特別会計など13会計があります。

(単位:万円)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	翌年度繰越財源	差引残額
国民健康保険	770,341	725,133	0	45,208
老人保健	872,406	885,853	0	13,447
介護保険	593,026	585,638	0	7,388
簡易水道	218,126	212,618	5,181	327
下水道	590,453	568,477	5,972	16,004
土地取得	62,985	62,985	0	0
宅地造成	271	233	0	38
歌代の里	45,157	44,742	0	415
五十里財産区	61	57	0	4
二宮財産区	280	277	0	3
新畑野財産区	972	959	0	13
松ヶ崎財産区	3	3	0	0
真野財産区	185	169	0	16

平成19年度に取り組んだ主な事業と成果

区分	項目	決算額
総務費	佐渡航路利用促進事業 新潟県、上越市と連携して小木直江津航路の利用促進事業を行いました。	6,858万円
	ケーブルテレビ施設整備事業 地域間格差をなくすため、両津、相川、金井、畑野地区にケーブルテレビ施設を整備しました。	14億8,576万円
民生費	灯油代助成事業 原油価格高騰に伴い、援護が必要な低所得世帯に対し灯油等購入費の一部を助成しました。	2,332万円
	高齢者生活支援事業 ひとり暮らし高齢者や高齢者を介護している家族等にサービスを提供し、高齢者の自立した生活の継続及び家族介護者の負担軽減を図りました。	7,821万円
衛生費	老人保健事業 生活習慣病の早期発見と予防のため、各種健康診査、健康教育、健康相談、訪問指導、機能訓練事業などを実施しました。	1億5,733万円
	トキ関連事業 餌場となるピオトープの整備に対する補助金の交付及び資料館のリニューアル工事等を行いました。	9,490万円
農林水産業	中山間地域等直接支払推進事業 対象集落の生産性・収益向上の推進活動、担い手の育成活動、集落営農の推進を図りました。	4億8,633万円
	漁港整備事業 漁業活動の利便性向上のため、防波堤などの整備を行いました。	5億9,518万円
商工費	専門学校等上位校誘致事業 市内の教育文化を高め、産業の発展に寄与するため、学校法人新潟総合学院を誘致し、専門学校設置に対し補助金を交付しました。	1億9,104万円
土木費	市道整備事業 交通の安全確保や利便性向上を図るため、市道の整備を行いました。	13億9,928万円
消防費	消防本部庁舎建設事業 機能的な位置に消防本部庁舎を建設するため、造成工事・庁舎本体工事を実施しました。	2億4,361万円
教育費	世界遺産関連事業 世界遺産登録を目指し、各種調査及び整備などを実施しました。	8,033万円
	第64回国民体育大会開催事業 平成21年の新潟国体開催に向け、会場となる野球場や体育館を改修しました。	3,402万円

市債の現在高

市債は、市が大きな事業を実施した時に借り入れたお金で、市の借金にあたります。

(単位:万円)

会計名	平成19年度末現在高	
一般会計	5,907,887	
特別会計	簡易水道	607,831
	下水道	2,436,862
	土地取得	2,393
公営企業会計	812,787	
病院事業	175,271	

市有財産の内容

庁舎、保育園、小・中学校などの建物や土地、市の貯金にあたる基金などの状況は次のとおりです。

区分	平成19年度末現在高
土地	73,452,670 m ²
建物	562,024 m ²
山林	61,776,951 m ²
有価証券	7,708 万円
各基金計	1,350,859 万円

基金は、ある目的のために積立て、準備しておく資金のことで、「教育文化施設建設基金」、「トキ環境整備基金」などの基金があります。

公営企業会計

公営企業会計は、民間企業と同じような経営をしている事業で、水道事業会計、病院事業会計があります。

(単位:万円)

水道事業会計		決算額
収益的	収入	116,286
	支出	108,316
資本的	収入	130,467
	支出	199,579

(単位:万円)

病院事業会計		決算額
収益的	収入	286,508
	支出	305,385
資本的	収入	102,955
	支出	103,901

**財政事情の公表
平成19年度**

決算報告

市では毎年2回、財政事情を公表しています。これは、地方自治法および市条例に基づき、市の収支状況や市債残高などを皆さんに知っていただくためのもので、今回は平成19年度決算についてお知らせします。

一般会計

一般会計の決算額は、歳入が459億449万円で、前年度に比べ2,853万円の増、歳出は447億9,099万円で、前年度に比べ5,495万円の増となりました。厳しい財政状況のもと歳出のより効率的な執行に努めた結果、歳入歳出差引収支は、11億1,350万円の黒字決算となりました。

歳入決算額: 459億449万円

(単位:万円)

区分	決算額	構成比
市税	596,279	13.0%
地方譲与税	64,623	1.4%
利子割交付金	2,886	0.1%
配当割交付金	2,394	0.1%
株式等譲渡所得割交付金	1,261	0.0%
地方消費税交付金	66,357	1.5%
ゴルフ場利用税交付金	243	0.0%
自動車取得税交付金	26,136	0.6%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	666	0.0%
地方特例交付金	3,811	0.1%
地方交付税	2,044,552	44.5%
交通安全対策特別交付金	1,158	0.0%
分担金及び負担金	41,853	0.9%
使用料及び手数料	89,106	1.9%
国庫支出金	226,218	4.9%
県支出金	350,958	7.6%
財産収入	25,925	0.6%
寄附金	11,550	0.3%
繰入金	262,920	5.7%
繰越金	113,992	2.5%
諸収入	130,613	2.8%
市債	526,948	11.5%
計	4,590,449	100.0%

歳出決算額: 447億9,099万円

(単位:万円)

目的別内訳	区分	決算額	構成比
議会費	費	35,537	0.8%
総務費	費	753,990	16.8%
民生費	費	861,594	19.2%
衛生費	費	456,674	10.2%
労働費	費	738	0.0%
農林水産業費	費	384,666	8.6%
商工費	費	181,441	4.0%
土木費	費	434,923	9.7%
消防費	費	212,948	4.8%
教育費	費	369,889	8.3%
災害復旧費	費	16,342	0.4%
公債費	費	770,357	17.2%
計		4,479,099	100.0%

性質別内訳

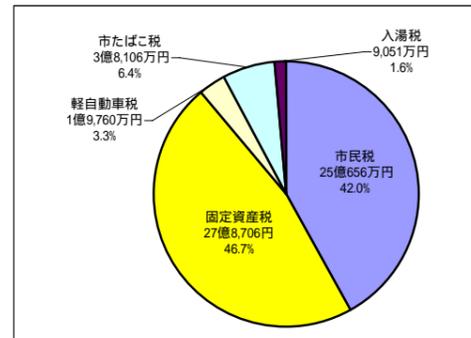
(単位:万円)

区分	決算額	構成比
人件費	939,813	21.0%
物件費	608,917	13.6%
維持補修費	29,269	0.7%
扶助費	252,670	5.6%
補助費等	334,288	7.5%
公債費	782,857	17.5%
投資及び出資金・貸付金	118,009	2.6%
繰出金	449,126	10.0%
積立金	129,517	2.9%
普通建設事業費	818,284	18.3%
災害復旧事業費	16,349	0.3%
計	4,479,099	100.0%

<性質別分類>

- ・人件費… 職員給料のほか、議員や非常勤特別職の報酬などに使われたお金
- ・物件費… 非常勤職員賃金や各施設の維持管理などに使われたお金
- ・扶助費… 生活保護など社会保障に使われたお金
- ・補助費等… 補助金・負担金などに使われたお金
- ・繰出金… 特別会計などに繰り出したお金
- ・普通建設事業費… 道路・学校・公共施設などの整備に使われたお金

市税の内訳



市民一人あたりにこのくらいのお金が使われました

(平成20年3月31日現在の人口66,024人で計算しています。)

議会費	総務費	民生費	衛生費	農林水産業費
議会の運営に使われたお金	行政の運営や市税の徴収、広報発行などに使われたお金	高齢者、障がい者福祉や子育て支援の充実などに使われたお金	ごみ処理や保健事業などに使われたお金	農林水産業の振興などに使われたお金
5,382円	114,199円	130,497円	69,168円	58,262円
商工費	土木費	消防費	教育費	公債費
商工業や観光の振興に使われたお金	道路や住宅の整備などに使われたお金	防災や救助活動などに使われたお金	学校教育の充実や生涯学習の推進などに使われたお金	市の借金返済のために使われたお金
27,481円	65,873円	32,253円	56,023円	116,678円

平成19年度佐渡市一般会計および各特別会計歳入歳出決算については、平成20年12月定例議会において不認定とされました。市民のみならず、大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びいたしますとともに、今後はより一層予算の適切な執行に努めて参ります(なお、決算の不認定は、執行された予算の効力に影響を与えるものではありません)。